

様々な観点から慎重な意見交換を重ねましたが、3候補地ともそれぞれにメリット、デメリットがあり、意見交換による候補地のしほりこみが困難な様相を呈してきたため、候補地ごとの優位性を判断する手段として、評価シートによって、「まちづくり」「利便性」「安全性・防災拠点性」「実現性・経済性」の4つの観点から選定した20項目で候補地をそれぞれ評価し、優位性を数値化することにしました。

その結果、各候補地の評価の平均点(100点満点)は次のとおりになりました。

【A候補地】		
自治医大北側県有地	64.57点	
【C候補地】		
自治医大駅西側	75.14点	
【F候補地】		
国分寺庁舎	67.29点	

平均点はC候補地の自治医大駅西側が最も高く、項目ごとの評価バランスも他の2候

補地に比べおおむね良好で、特に「まちづくり」「利便性」「安全性・防災拠点性」の項目で高く評価されましたが、「実現性・経済性」の項目では、課題が指摘されました。しかし、C候補地は平均点が高いだけでなく、個人評点順でも約3分の2の委員が3候補地の中でもっとも高い評点をつけ、最終的に残った3候補地の中で、新庁舎の建設候補地として最も適切であると判断されました。

●今後の予定

今後、議会との協議、パブリックコメントを経て、市としての庁舎建設基本構想が策定されます。

※合併特例債とは…

合併特例債とは、合併市町村が新市建設計画に基づいて行う事業に対して、合併年度とこれに続く10か年度に限り利用できる地方債です。対象事業費の95%に充当でき、元利償還金の70%が普通交付税によって措置される有利な制度です。

庁舎建設候補地位置図

